

# 10 副詞

## 10-1 要点のまとめ

### 1 副詞の性質

- (1) 自立語で、活用がない。
- (2) 用言を修飾する。

[例] もっと安いものを探そう。 (用言を修飾)

- (3) 程度の副詞には、体言や、ほかの副詞を修飾するものがある。

[例] もっと右側を歩け。 (体言を修飾)  
もっとゆっくり歩こう。 (副詞を修飾)

### 2 副詞の種類

#### (1) 状態の副詞

- ・動作・作用の状態を、くわしく表す。
- ・主に動詞を修飾する。
- ・擬声語…物の音や声をまねたもの
- ・擬態語…物の様子を表す

[例] どっと ゆっくり(と) すぐ(に) しばらく たちまち はっきり(と)  
ときどき こっそり(と) 堂々と ふと こう そう ああ どう

#### (2) 程度の副詞

- ・物事の性質や状態の程度を表す。
- ・主に形容詞や形容動詞を修飾するが、体言やほかの副詞を修飾することがある(前述)。

[例] すごく かなり もっと いっそう 少し ちょっと ごく 最も  
あまり 大いに きわめて たいそう だいぶ ずっと

#### (3) 陳述の副詞(呼応の副詞)…後の文節に決まった言い方を要求する副詞。

- |       |            |                              |
|-------|------------|------------------------------|
| ① 仮定  | 「もし～ならば」   | <u>もし雨が降ったら</u> 、遠足は中止だ。     |
| ② 否定  | 「決して～ない」   | <u>決して動かない</u> 。             |
|       | 「少しも～ない」   | <u>少しも進まない</u> 。             |
|       | 「全然～ない」    | 「テストできた。」「 <u>全然</u> 。」      |
| ③ たとえ | 「まるで～のよう」  | <u>まるで夢のよう</u> だ。            |
|       | 「さながら～のよう」 | <u>さながら天へ昇るよう</u> な気持ちだ。     |
| ④ 推量  | 「多分～だろう」   | <u>たぶん行ける</u> でしょう。          |
|       | 「おそらく～だろう」 | <u>おそらく失敗</u> だろう。           |
| ⑤ 願望  | 「是非～したい」   | <u>是非イギリスへ留学</u> したい。        |
| ⑥ 疑問  | 「なぜ～なのか」   | <u>なぜ笑う</u> のか。              |
|       | 「どうして～なのか」 | <u>どうして泣く</u> の <u>だろう</u> 。 |